

開講日	2011年秋期 木曜日 18:30-20:00	講義場所	研究棟11階講義室B 臨床シミュレーションセンター
コーディネーター	名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター 副センター長 尾崎康彦		

科目概要および期待される成果	<p>【概要】分娩は“十人十色”ですが、願いは一つ。“安全なお産”です。少子化の進む日本では分娩数は減少していますが、ハイリスク分娩は増加しています。またひとつひとつの妊娠や分娩に関わる医療も、より濃厚なものになってきています。日本の妊婦死亡率や新生児死亡率は世界中でも極めて低く、高い周産期医療水準であることを証明しています。このレベルを維持するため分娩に携わる医師、助産師、看護師、救命救急士らがより高い知識と技術を身につけることが重要です。</p> <p>【期待される成果】今、日本は依然として深刻な産婦人科医師、助産師不足です。30歳代までの産婦人科医師の約70%が女性医師であり、出産や育児によって休業した医師や助産師の現場復帰をサポートすることが今後の日本の周産期医療を支えるために重要です。最新の周産期医療を学び、自信を持って即戦力としての現場復帰を支援することを目標とします。また、助産師や看護師が超音波検査や分娩監視装置を学ぶことで不足する産科医と協力し、サポートし合うことができます。院内助産所の開設を促進したり、さらに初期研修以降産科を学ぶ機会の少なかった医師や救命救急士が、妊婦を診察するケースにおいて役立つ知識や技術を習得することができます。</p>
目標とする資格	将来、新生児蘇生法(日本周産期・新生児医学会)やALSO (Advanced Life Support in Obstetrics) Japanなどの講習会を受講し、資格の取得を目指す方に役立つ内容を盛り込んでいます。(尚、教材及び講義内容は重複しません。)

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師(所属)
S-1	1	Birth Tour “妊娠の始まり”	妊娠までの“それぞれ”の道のり。そして“おめでたですよ。”の瞬間。喜びと不安の中での旅の始まりです。“安全なお産”を目指して準備をしましょう。妊娠の診断法や妊娠初期の注意点について学びます。	9月29日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター
L-1	2	妊婦健診 Up to Date Part 1 “今どきの妊健って何?”	産婦人科診療ガイドライン(産科編)が2008年(2011年に改訂)に発表され、妊婦健診(妊婦健康診査)のコンセンサスが明らかになりました。最新の妊婦健診に乗り遅れないようにしましょう。	10月6日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター
L-2	3	出生前診断法の実際	生まれる前に分かる病気があります。当院の臨床遺伝医療部の行っている、出生前診断や遺伝カウンセリングについて学びましょう。	10月13日	副部長 鈴森伸宏 名古屋市立大学病院 臨床遺伝医療部
L-3	4	赤ちゃんが見える:超音波診断法	1980年代半ば以降、超音波断層法により産科のブラックボックスに光が射し込みました。妊娠初期から分娩まで。妊婦健診に必要な超音波検査法について紹介します。	10月20日	助教 北折珠央 名古屋市立大学医学研究科 産科婦人科学
L-4	5	妊婦健診 Up to Date Part 2 「母児感染症編」	母体の感染症は胎盤や産道を経由して垂直感染を起こします。お腹の中の赤ちゃんを守る為に、正確な母児感染症の知識を学びます。命の“TORCH”をかざしましょう。	10月27日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター
S-2	6	マトリックス・ダブルフューチャープログラム超音波断層検査法:シミュレーション Part 1 基礎編	L-3で学んだ超音波検査法をシミュレーターを用いて理解を深めます。実際に“出来る!”を目標にしましょう。	11月10日	副センター長 片野衣江 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター 副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター
S-3	7	超音波断層検査法:シミュレーション Part 2 応用編	「子供の使いじゃあないんだからさあ!」というやる気の声に応えます。今回は本物の超音波機器を用意します。S-2で得た基礎力をここで一歩先のレベルに進めましょう。	11月17日	副センター長 片野衣江 名古屋市立大学病院 臨床シミュレーションセンター 助教 大林伸太郎 名古屋市立大学医学研究科 産科婦人科学
S-4	8	マトリックス・ダブルフューチャープログラム① “well-being”を目指して:胎児・胎盤機能検査 ② “妊婦さんに優しい世界”を目指して	胎児の“元氣”を把握するための検査方法を紹介します。“well-being”を知る方法は胎児心拍数モニタリング法だけではありません。破水の診断法も学びます。そしてスペシャルゲスト第1弾です。“MommyTummy”の世界へようこそ!	11月24日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター 助教 小坂崇之 “工学博士” 神奈川工科大学
L-5	9	最近の助産師外来・新生児蘇生法	「いざという時に、実際に頼りになるのは助産師さんですよ。」と、賢い妊婦さんは既に気づいています。妊婦さんの心身をサポートする助産師外来が軌道に乗っています。2010年に改訂された最新の新生児蘇生法も学びましょう。	12月1日	助教 大林伸太郎 名古屋市立大学医学研究科 産科婦人科学 看護師 上原か葉子 名古屋市立大学病院 看護部
S-5	10	新生児蘇生法:シミュレーション編	講義で学んだ最新の“児受け”をスーパー助産師が優しく手ほどきします。新生児蘇生法インストラクターが正しい蘇生法を指導します。いまだに“頭が出たらすぐ鼻から”吸っていませんか?逆さずりは新生児虐待です。	12月8日	助教 大林伸太郎 名古屋市立大学医学研究科 産科婦人科学 名古屋市立大学病院 助産師
L-6	11	異常分娩が来た!	“1リットルの涙”を知っていても“500mlの分娩時出血”はほとんど知られていません。“お産の安全神話”はこのように時に音も立てずに崩壊します。異常分娩のサインを見落とさないように。あってはならないその時に備えましょう。	12月15日	講師 佐藤剛 名古屋市立大学医学研究科 産科婦人科学
S-6	12	“well-being”を目指して:胎児・胎盤機能検査	胎児の“元氣”を把握するための検査方法を紹介します。特に最近クライテリアが発表され、にわかに議論の活発な胎児心拍数モニタリング法を先取りしましょう。	12月22日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター
S-7	13	分娩なう:シミュレーション編	正常分娩のみならず骨盤位分娩助術、鉗子・吸引分娩術をシミュレーターを用いて学びます。スペシャルゲストのディープな“匠の技”に遭遇できるかも知れません。	1月12日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター
S-8	14	CSC(臨床シミュレーションセンター)スタンダラー	名古屋市立大学の臨床シミュレーションセンターは世界最高クラスのシミュレーターを配して、2011年春にオープンしました。最新の周産期・新生児シミュレーターを独り占めして、ロールプレイ(S-9)に備えましょう。	1月19日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター 名古屋市立大学病院 医師・助産師
S-9	15	Birth Tour “誕生”	オリジナルのシナリオを用いて、陣痛発来から分娩終了までを少数のロールプレイでシミュレーションします。貴方は既に“安全なお産”をサポートできるはずですが、Birth Tourを振り返りながら、誕生の喜びをかみしめましょう。そして次なる“旅”を目指して!	1月26日	副センター長 尾崎康彦 名古屋市立大学病院 分娩生育先端医療センター 名古屋市立大学病院 医師・助産師

S: シミュレーション形式(臨床シミュレーションセンター) L: 講義形式(研究棟11階講義室B)